

オバマ米大統領広島訪問

中國新聞
5月28日(土)

「核なき世界追求する勇気を」 現職で初 慰霊碑前で訴え



原爆ドームを背景に、所感を述べるオバマ米大統領=27日午後5時50分、広島市中区の平和記念公園(代表撮影)

米国のオバマ大統領が27日、広島を訪問した。71年前の人類の惨禍の記憶を刻む被爆地に現職の大統領が立つのは初めて。

広島市中区の平和記念公園で原爆慰靈碑に獻花碑前で「核を保有する国々は、核兵器のない世界を追求する勇気を持たねばならぬ」と所感を述べた。日本被団協代表委員で広島県被団協の坪井直理事長(91)たち被爆者が立ち会い、対面した。(岡田浩平)

オバマ氏は午後10時20分すぎに公園に到着。原爆資料館で、被爆10年後に亡くなつた佐々木禎子さんの折り鶴など複数の特設展示を見た後、原爆慰靈碑へ。日本政府に招かれた広島市田上富久市長ら約100人が通路前方で着席して見守った。安倍晋三首相は現した。多数の市民や朝鮮半島出身者の犠牲に言及し、「いつか証言する被爆者

のうちの声は聞けなくなる」などの声は聞けなくなるが、1945年8月6日の朝の記憶を風化させてはならない」と語った。原爆投下を表す所感では冒頭、「71年前、雲一つない明るい朝、空が死が落ちてきて世界は変わった」と原爆投下を表す所感で、「核兵器なき世界」の実現に向けて、「努力を積み重ねる」と強調した。

動画は中国新聞HPで

月に大統領就任。同年4月は52分だった。

オバマ氏は2009年1月に大統領就任。同年4月

を離れた。公園の滞在時間

は52分だった。

オバマ氏はその後、坪井理事長に歩み寄り、握手を交わした。原爆の犠牲になつた米兵捕虜の存在調べてきた歴史研究家の被爆者、森重昭さん(79)と抱き合つた。

オバマ氏は、原爆の子の像の前から原爆ドームを眺めた後、車列を組んで公園

SELECT
きょうのセレクト
①伊勢志摩おもてなし

中国新聞の購読・試読は0120-492-506

ちゅーピーと学ぼう!
試験によく出る社会 中級編
生まれた国を出て、永久または半永久的に他国に移り住む人のことを何というかな?
答えは新聞のどこにあるよ。ちゅーピーを探してね!

◆東京市場(27日)
円銀相場 109.77-109.78円(0.25円高) 株終値 1万6834.84円(62.38円高)
ドル対ユーロ 122.67-122.71円(0.22円高) 株終値 TOPIX 1349.93(7.06円高)

オバマ米大統領の所感ポイント

- 71年前、原爆の投下で世界は変わった
- 死亡した10万人以上の日本人と多くの朝鮮半島出身者、米国人捕虜を追悼するために来た
- 広島は真実を教える。記憶は風化させてはならない
- われわれは歴史を直視する責任を共有している
- 戦争についての考え方を改め、紛争を阻止するための外交努力を
- 核兵器なき世界を追求する勇気を持たなければならぬ
- 謝罪はせず

◇お断り 「きょうの天気」は2面に掲載しました。

いまか、いまかと待っていた。平和記念公園近くの歩道の人だから。被爆地を踏んだ。原爆資料館で遺品と対面し、慰霊碑に花を手向けて直後、うつむいて目を閉じた。5秒間は、誰の目にも

行事の主な出席者 平和記念公園での行事の主な出席者は以下の通り。
【公人】オバマ米大統領、安倍晋三首相、岸田文雄外相、ケネディ駐日大使、湯崎英彦広島県知事、中村法道長崎県知事、松井一実

【被爆者】坪井直氏(日被団協代表委員)、岩佐幹三氏(同代表委員)、田村幹氏(同事務局長)、森重昭氏(歴史研究家)

【被爆者】坪井直氏(日被団協代表委員